

資産運用レポート：ワンガ一流小型株投資

1 はじめに

ラルフ・ワンガー（Ralph Wanger）をご存じでしょうか。ウォーレン・バフェットの全盛期と同じ時代を生きた投資家です。

コカ・コーラに代表される経済的な堀を備えた大企業への長期集中投資を実践したバフェットに対して、ワンガーは将来性のある小型株の発掘を積極的に行いました。

特筆すべきは驚異的なリターンです。1970年から2003年まで運用したエイコーン・ファンドのリターンは年率16.3%。同期間のS&P500指数は年率12.1%につき、年率4.2%の超過リターンを得られました。

33年間の長きにわたり、年率4.2%の差が積み重なれば、まさに天と地ほどの違いとなります。1970年に100ドルで運用を始めた場合、2003年の結果は下記のとおりです。

●エイコーン・ファンド：16,971ドル（169倍）

●S&P500指数：4,859ドル（48倍）

ワンガーの投資手法は、1997年に出版された著書『A Zebra in Lion Country』にまとめられています。現在でも英語版をアマゾンで入手可能です。

今回の資産運用レポートでは、個人投資家にとっても得るところが多いワンガ一流小型株投資を取り上げます。

★A Zebra in Lion Country

